学校だより

一人一人が主人公

令和５年 12 月 22 日
豊岡市立但東中学校
12 月号

【 学校教育目標 ： ふるさとの未来を創る　自分をつくる　但東の子 】

温故知新（故（ふる）きを温（たず）ねて新しきを知る）

初冬の候、保護者・地域の皆様におかれましてはお変わりなくお過ごしでしょうか。令和５年も残すところあと僅かとなりました。先日、但東中学校では生徒会の任命式・引継ぎ式がおこなわれました。これまで但東中学校のリーダーとして活躍してくれた３年生から、２年生へ伝統のバトンが新たに引き継がれました。

本年度の３年生は体育祭での主体的な活動、文化祭での学習発表や合唱はもとより、「ノーチャイム」や「立ち止まっての挨拶」等、但東中学校の良き伝統を普段から守り実践してくれました。振り返ってみれば、長らく猛威を振るった新型コロナウイルス感染拡大によって小さく儚くなった学校文化の伝統の灯を、再び明るく輝かせてくれたのが本年度の３年生でした。新生徒会はこれまでの活動を引き継ぎ、さらに良いものにしてくれると期待しています。そんな思いを込めて、表題を「温故知新」としました。

この「温故知新」という言葉の意味を紐解くと、「過去を振り返りそこから新しい知識や見解をひらくこと」とあるように、単に過去を反省し自らを戒めるという意味があるだけではありません。過去を振り返ることで過去と未来を結び付け、今をよりよく生きるために必要となる新たな「道しるべ（目標や教訓）」を導き出すという意味も込められています。

誰もが今を精一杯生きています。しかし失敗したりうまくいかなかったりすることは多々あります。そんなとき何の道しるべもなく、ただやみくもに努力するだけでは道に迷い疲れ果ててしまいます。予測のつかない未来だからこそ、今をより良く生きるための道しるべが必要なのです。そしてこの道しるべは未来にではなく、自分自身がこれまで取り組んできた過去に隠されています。それを見つけることができるのは、他でもない自分自身なのです。

年の瀬を迎える１２月は１年を振り返るのにちょうど良い機会です。しかしただ１年を懐かしむだけで終わらせるのではなく、新たな飛躍のために振り返ってみてはどうでしょうか。

新生徒会メンバー

生徒会長	田中　晴汰
生徒会副会長	髙井　音
	井上　晴香
放送文化委員長	渡邉　哲也
美化生活委員長	加藤　修平
体育購買委員長	家城　直未知
保健給食委員長	福田　彩夏
図書委員長	木本　明
正副委員長	渡邉　一翔

★表彰関係★

○但馬小・中学校読書感想文コンクール　特選　井上　晴香　　佳作　小西　帆乃夏
佳作　酒井　碧

○兵庫県中学校総合文化祭　書写部門　特選　谷垣　佳音　　入選　山本　真央
入選　平岡　楓夏

絵画部門　特選　谷垣　佳音　　入選　井上　晴香
入選　岡畑　稀

○豊岡市美術展　児童生徒の部　入選　武田　理和

○兵庫県幼・小・中造形美術展　入選　小西　帆乃夏　入選　宮垣　穂香
入選　渋谷　千穂　　入選　井上　晴香
入選　永井　結菜

○但馬造形教育展　特選　城野　春海　　特選　山本　真央
特選　谷垣　佳音　　入選　大石　友梨奈
入選　福田　彩夏　　入選　岡本　悠菜
入選　中尾　美月　　入選　福田　鈴菜

○科学する但馬の子ども作品展　努力賞　家城　直未知

○「但馬の子ども」　詩の部　入選　髙井　音

○兵庫県中学校総合文化祭　知事賞　音楽部

○但馬中学校卓球新人大会　男子個人戦　準優勝　木本　明

○おおやスポーツセンター杯　卓球大会　中学生男子の部　優勝　　木本　明

○豊岡市親善少年少女武道大会　中学三年生女子の部　第三位　渋谷　千穂
中学二年生男子の部　第三位　家城　直未知

○出石剣道大会　中学生女子の部　第三位　今井　樹里　　第三位　岡畑　稀
第三位　森本　知花

○全国中学生人権作文コンテスト　兵庫県大会地区予選　銅賞　葉賀　まどか

○ＪＡ共済小・中学生書道コンクール　努力賞　酒井　千尋　　努力賞　井上　晴香
努力賞　平岡　楓夏

○豊岡市防火ポスター　特選　永井　結菜　　入選　岡畑　稀
佳作　山本　俐央心

○人権啓発作品　標語　中学生・２年生の部　優秀賞　福田　彩夏
ポスター　中学生・３年生の部　入選　小西　帆乃夏

○中学生の「税についての作文」　豊岡納税貯蓄組合連合会 会長賞　福田　彩夏

１２月・１月の主な行事

お知らせ

２２日（金）２学期終業式
２４日（日）アンサンブルコンテスト但馬地区大会（和田山ジュピターホール）
９日（火）３学期始業式
１０日（水）課題テスト・実力テスト　給食開始
１３日（土）バレーボール選手権大会
１６日（火）安全の日　３年進路保護者会①
１７日（水）1.17 メモリアルデー　３年進路保護者会②
１８日（木）３年進路保護者会③
２３日（火）HSP　入学説明会